

# 津山市第5次総合計画 分野別懇談会の様子と意見要旨 ～現場から津山の未来を考える！～

日時 平成27年1月21日(水) 15:00～ 場所 津山市役所 大会議室

テーマ 子育て・教育・生涯学習 参加団体数 20団体

会場の雰囲気は・・・最初はみなさん緊張されています



市長あいさつ



人口推計を中心に説明をしています



分野別懇談会では、お一人おひとりからご意見・ご提言をいただきました



ひとり3分という短い時間・・・厳しいご指摘もありましたが、津山市について真剣です



みなさんから津山市の将来に向けて前向きなご意見・ご提言をいただきました



津山市職員も真剣です！





分野別懇談会（子育て・教育・生涯学習）での  
みなさんからの意見・提言です。

- 情報化を中心に、子どもを取り巻く環境は大きく変化しており、集中や工夫、我慢  
ができない子どもも増えている。五感での体験や人間同士のふれ合いなど、豊かな  
学びが必要
- 一人ひとりの子ども（それぞれの特性）に合わせた、きめ細かい指導や支援が重要
- 学校にとっては、立地するまちの魅力も、大きな要素であり、「津山に住みたいから  
この学校に入る」という相乗効果を図りたい
- 面白く、新しく、若い人が「かっこいい」と思うような産業を創出しなければなら  
ない
- 県南の中高に出る子どもも増えており、そうすると、友達がいらない（関係が薄くな  
る）ので、津山には帰ってこない
- 世代を超えて同じ課題に取り組むコミュニティづくりが、新しい時代には必要
- 地域の活性化は、津山市の活性化につながる
- 子どもを安心して安全に預けられないと、力一杯働くことができない
- 安心して子育てできるまちは、まちの魅力ともなり、企業や人がまちを選ぶ際の、  
重要な要因となる
- 時間がかかっても、目先にとらわれず、長期を見据え、将来の津山をつくる、とい  
う気概がなければ、成果は出ない

○基本理念をしっかりと定め、10年間は動かさないこと

○重点化して具体性を持たせ、設計図を作るようなやり方でしてほしい



○地元を愛し、職業に就くまでを大事にする、ふるさとキャリア教育の充実を！

○市民の心に浸透し、自分たちが取り組む気持ちになるような伝わる施策を！

○個々、人の事情も様々であり、それぞれのニーズに応え、各地域やコミュニティでできるスポーツ、という視点を持つべき

○若者の低所得化も少子化の原因であり、経済的支援を！

○図書館を単なる生涯学習施設ではなく、将来市民との協働を図る知の拠点としての位置付けを

○子ども達の学校生活が楽しかったと思えるような教育環境を

○子どもが近くに住んでほしいというのも親の自然な気持ち 県外に出た子ども達が若いうちにUターンできるような環境を整備することが最大の課題

○県南からでも来るような教育・学校づくりを

○土日夜間の預かりなど、働いている人の実態に合った支援を

○企業誘致よりも、地元の中小企業支援を

など、多くのご意見が、活発に出されました。



みなさんから前向きで真剣な具体的な提案をたくさんいただきました。

**参加された皆さん、大変お忙しいところありがとうございました。**